



# 妊婦・授乳婦の治療



## 1.妊婦、授乳婦に対する麻酔

妊娠定期や授乳中の歯科治療で麻酔が必要な場合に、胎児や母乳に影響ないとされる麻酔はありますので、御安心して治療を受けていただくことができます。

## 2.妊婦に対するレントゲン検査

日本で生活していて1年間に浴びる放射線量は歯科治療で撮影するレントゲン写真約200枚ぐらいにあたります。また、防護エプロンを使用していますので胎児にはほぼ影響はないと言えますが、当院では妊婦へのレントゲン撮影は必要最低限の時のみ行うことにしております。

## 3.妊婦に対する抗生素、鎮静剤(薬剤)

原則として妊婦への投薬は致しません。ただし、不可避な場合においてのみ投薬することもあります。その場合、比較的安全とされている薬剤の投薬となります。

妊娠初期や難しい症例では産科医と相談の上、投薬を決定することもあります。

## 4.妊婦と歯周病

一般に歯周病がある妊婦は歯周病でない妊婦と比較して早産、低体重児の可能性が高くなると言われています。また、出生児の精神発達障害、脳性麻痺、てんかんなどのリスクが増加するという報告もあります。妊娠中は特にプラークコントロールが大切になると言えます。



詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

